

源氏藤袴乃湯（げんじふじばかまのゆ）のしおり

このたびは、「源氏藤袴乃湯」を買ってくれはって、ほんまにおおきに。
「藤袴」は、昔から「秋の七草」のひとつとして、みんなが知ったはります。

この製品は、紫式部はんが書かはった源氏物語第三十帖「藤袴」に登場したもんとおんなじ遺伝子を受け継いだ「京都原種の藤袴」だけで作っとります。そやさかい、**京都限定・数量限定・期間限定**で販売しとるんどす。

袋の中には、無農薬で栽培した「京都原種の藤袴」の花、葉、茎を自然乾燥させブレンドしたもんが約27グラム入っとります。無選別やさかい、手触りは、葉や茎の感触が残っとりますけど、藤袴以外のものはぜんぜん使うとりまへん。そやし、乾燥した藤袴だけに感じられる甘い、懐かしい香りを楽しんでおくれやす。

ちょっとお試しに、ええ香りがする芳香用として、お部屋やクローゼット、バッグなどにも使うてみておくれやす。ほんで、「匂い袋」は、別に売ってますさかいに、長く使うてみたいと思わはったら、「革堂行願寺」で買うとくれやす。

そやけど、やっぱり新しい「源氏藤袴乃湯」をお風呂に入れて「藤袴湯」を楽しまはるのが、いちばんええと思います。藤袴のええ香りが漂うお風呂でまったりしとくれやす。

うちは、藤袴は、お肌にええと聞いたことがあって、SODとか言うて、ええ酵素が含まれてるみたいやし、お湯はしっとり滑らかでええ感じやと思います。入浴用として3回くらい使えますさかいに、楽しんでおくれやす。残ったお湯は洗濯にも使えますえ。

1000年の間受け継いできた「京都原種の藤袴」から、平安時代の文化や京都の歴史に思いを馳せとくれやす。
ほんなら、おおきに、さいなら。また来とくれやす。

京都原種藤袴活用プロデューサー 藤袴蘭子

◎製品お問合せ先

製造監修 源氏藤袴会 〒602-0876 京都市上京区新烏丸通丸太町上る錦砂町 294-1 代表 馬場備子（ばばみなこ）
電話・ファクス 075-241-2084

ホームページ <https://kyotofujibakama.com>
製造協力 A型就労サポート「ひまわり」（障害者就労継続支援A型事業所） 〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町15-1 グラン・ドムール聚楽2階 所長 青柳良明
電話・ファクス 075-813-0205
メール a.himawari.rising@gmail.com

企画協力 同志社大学学生「フジバカマチーム」（米田優美香、藤原彩七、高井梓帆、松尾陽香里、池田理佐子、田中綾乃、笠原祥香）

◎原材料 自然乾燥させた「フジバカマ」の花、葉、茎（無選別）
◎内容量 約27グラム
◎注意事項 本品は食べられません。



藤袴蘭子

♥ 「藤袴蘭子」は、藤袴活用商品のイメージキャラクターです ♣